

トルクメン（現トルクメニスタン）は中央アジアの南西部に位置する国で、西端をカスピ海に接し、シルクロード交易の要所として栄えた歴史を持ちます。砂漠に生きる遊牧の民であったトルクメンの人々は、風土や生活様式に根差した独自の装身文化を築いてきました。

トルクメンの装身具は、カーネリアン（紅玉髄）と銀の華やかな組み合わせや、重厚な趣が特徴です。これらは身体を装飾する目的だけでなく、身に付けられる財産、部族や立場を示す目印、災厄を除けるお守りとしての役割も担っており、造形や文様には様々な意味が込められています。〈Art〉では、トルクメンの人々の美意識と祈りを映した、多面的なトルクメンジュエリーをご覧ください。

〈Books〉では、「視座」をキーワードに連想を広げます。揺るぎない「視座」を持つことは、容易ではありません。それでも人生の岐路に立たされたとき、私たちは信念や願いを道しるべに、進むべき道を選び取っていくしかないのです。今期の〈Books〉では、視点を変えることで見えてくる、新たな選択肢の可能性に触れてください。

Art 展示資料リスト

資料名	部族	年代
【“邪視”と背飾り】		
ハート型背飾り	サルイク族	1850 年頃
ハート型背飾り	ヨムート族	1915～1916 年
ハート型背飾り	テケ族	19 世紀前期
ハート型背飾り	ヨムート族	18 世紀あるいはそれ以前
ハート型背飾り	ジャファアバイ族	1890 年以前
ハート型背飾り	ジャファアバイ族	19 世紀中期
ハート型背飾り	テケ族	18 世紀末あるいは 19 世紀初期
【護符入れ】		
女性用護符入れ	テケ族	18 世紀
女性用護符入れ	サルイク族	18 世紀
女性用護符入れ	サルイク族	18 世紀後期
少年用護符	ヨムート族	19 世紀前期
護符入れ	エルサリ族	18 世紀前期あるいはそれ以前
護符入れ	テケ族	1890 年以前
護符入れ	エルサリ族	19 世紀初期
年配の女性用護符入れ鞆	ジャファアバイ族	19 世紀
小型護符入れ	ジャファアバイ族	20 世紀前期
【様々な装身具】		
未婚女性用帽子飾り	テケ族	19 世紀前期
少女用帽子飾り	ジャファアバイ族	1890 年以前
既婚女性用頭飾り	ヨムート族	19 世紀前期
こめかみ飾り	ジャファアバイ族	19 世紀中期
耳飾り	エルサリ族	19 世紀前期
耳飾り	ヨムート族	19 世紀中期
六角形胸飾り	テケ族	19 世紀前期
円盤型胸飾り	テケ族	1880～1900 年
腕輪	テケ族	18 世紀
手飾り	テケ族	1950 年頃
指輪	テケ族	18 世紀
指輪	テケ族	19 世紀中期
指輪	テケ族	19 世紀後期

快

こちよさは、最も根源的な感情とされています。

生きとし生けるものは、不快を避け、快を求めるもの。

良き状態を保とうとする営みは、原始の時代から今この瞬間まで絶え間なく続いています。

- 『身体（日本の近代思想を読みなおす ; 5）』西平直著 ; 末木文美士, 中島隆博 責任編集. 東京大学出版会, 2025 年 [121.6]
- 『わたしそしてわれわれ : 現代に生きる人のための・心理学テキストブック : ミレニアムバージョン 〈3 版〉』大坊郁夫編著. 北大路書房, 2004 年 [140]
- 『痩せという身体の装い : 印象管理の視点から』鈴木公啓著. ナカニシヤ出版, 2017 年 [141.9]
- 『メトロセクシャル : すべての都市生活者に贈る究極のライフスタイルガイド』マイケル・フロッカー著 ; 伊藤あや子訳. ソフトバンクパブリッシング, 2004 年 [159]
- 『家具（日本史小百科 ; 17）』小泉和子著. 近藤出版社, 1985 年 [210.08]
- 『他者を感じる社会学 : 差別から考える（ちくまプリマー新書 ; 363）』好井裕明著. 筑摩書房, 2020 年 [361.8]
- 『生活環境の探求 : 小川信子の世界』日本女子大学住居小川研究室の会編. ドメス出版, 1998 年 [365]
- 『ウェルビーイングを実現するライフデザイン : データ+事例が導く最強の幸せ戦略（ライフデザイン白書 ; 2024）』第一生命経済研究所著. 東洋経済新報社, 2023 年 [365.5]
- 『私に萌える女たち』米澤泉著. 講談社, 2010 年 [367.21]
- 『高齢者のコスメティックセラピー（介護福祉ハンドブック ; 54）』矢野実千代著 ; 一番ヶ瀬康子監修. 一橋出版, 2000 年 [369.26]
- 『すてきな無駄づかい（現代風俗 ; '97）』現代風俗研究会編. リプロポート, 1996 年 [380]
- 『ラグジュアリー : ファッションの欲望』石関亮[ほか]編 ; 河本信治, 長谷川祐子監修. 京都服飾文化研究財団, 2009 年 [383.1]
- 『洗淨風俗史話 : 入浴と洗濯のあゆみ』落合茂著. 文芸復興社, 1993 年 [383.6]
- 『脳を知る : 「自分らしさ」の探求』川村一彦著. 幻冬舎メディアコンサルティング, 2024 年 [491.371]
- 『ホリスティック医学』日本ホリスティック医学協会著. 東京堂出版, 2007 年 [492]
- 『きれいになりたい病 : これでわかる醜形恐怖心性』大村美菜子著. 風鳴舎, 2025 年 [493.743]
- 『アンネナブキンの社会史（Turtle books）』小野清美著. JICC 出版局, 1992 年 [498.02]
- 『アロマテラピー : 「芳香療法」の理論と実際』ロバート・ティスランド著 ; 高山林太郎訳. フレグランスジャーナル社, 1985 年 [499.87]
- 『美容院と理髪店（建築写真文庫 : 建築写真文庫 ; 17）』彰国社, 1955 年 [520.8]
- 『日本人のすまい : 住居と生活の歴史（建築の絵本）』稲葉和也, 中山繁信著. 彰国社, 1983 年 [521]
- 『ビッグ・リトル・ノブ : ライトの弟子・女性建築家土浦信子』小川信子, 田中厚子著. ドメス出版, 2001 年 [523.1]
- 『眼鏡の歴史』大坪元治著. 日本眼鏡卸組合連合会, 1960 年 [535.89]
- 『夢と欲望のコスメ戦争（新潮新書 ; 109）』三田村落子著. 新潮社, 2005 年 [576.7]
- 『日本洋装下着の歴史』日本ボディファッション協会編集委員会編. 文化出版局, 1987 年 [589.2]
- 『ポワレとフォルチュニ : 20 世紀モードを変えた男たち』河村三枝子[ほか]編. 東京都庭園美術館, 2009 年 [589.2]
- 『下着のおしゃれ学 : 美しいボディラインをつくり、ハートを元気にする（イラスト版おしゃれレディシリーズ ; 5）』インナー・エクスプレス編. 永岡書店, 1990 年 [589.22]
- 『髪の毛を切るってなんだろう』水谷裕一[ほか]著. アグネ承風社, 2015 年 [595.3]
- 『髪形の知性（カプセル叢書）』宇野久夫著. 紀伊国屋書店, 1978 年 [595.4]
- 『訪問理美容スタート book : 技術からマネジメントまで』全国福祉理美容師養成協会（ふくりび）編著. 女性モード社, 2014 年 [673.96]
- 『パギャル消費 : 女子の 7 割が隠し持つ「ギャルマインド」研究』西井美保子著. 日経 BP 社, 2011 年 [675.2]
- 『ヘルター・スケルター』岡崎京子著. 祥伝社, 2003 年 [726.1]

『ビッグ・リトル・ノブ : ライトの弟子・女性建築家土浦信子』小川信子, 田中厚子著. ドメス出版, 2001 年 [523.1]

1935 年に竣工した土浦亀城・信子夫妻の自邸は、「土浦亀城住宅」として東京都指定有形文化財（建造物）にも指定されています。今から 90 年前の昭和初期に、住まうことの快適性を追求した、現存する貴重なモダニズム建築のひとつです。本書は、土浦夫妻へのインタビューをもとに、自邸の建築にも深く関与した信子夫人に光を当てた内容です。日本の女性建築家最初期のひとりとされながら、早い時期に建築家としての活動から離れた土浦信子の代表的な評伝と言えるでしょう。

多面体

ものごとには様々な側面があります。
立場や経験は思考を助ける一方で、視点を縛ることも。
一度立ち止まり、まっさらな気持ちで向き合えば、
新しい形が見えてくるかもしれません。

- 『近世の心身論：徳川前期儒教の三つの型』高橋文博著. ベリカン社, 1990 年 [121.53]
- 『第一印象の科学：なぜヒトは顔に惑わされてしまうのか?』アレクサンダー・トドロフ[著]; 中里京子訳; 作田由衣子監修. みすず書房, 2019 年 [141.51]
- 『顔は口ほどに嘘をつく』ポール・エクマン著; 菅靖彦訳. 河出書房新社, 2006 年 [141.6]
- 『表情分析入門：表情に隠された意味をさぐる』ポール・エクマン, W・V・フリーセン著; 工藤力訳編. 誠信書房, 1987 年 [141.67]
- 『身体はだれのものか：比較史でみる装いとケア（京都橘大学女性歴史文化研究所叢書）』南直人 [ほか]編. 昭和堂, 2018 年 [141.9]
- 『色に出でにけり：身分と差別』大阪人権博物館編. 大阪人権博物館, 1998 年 [210.1]
- 『古代の装い（歴史発掘；4 巻）』春成秀爾著. 講談社, 1997 年 [210.2]
- 『バブル文化論：〈ポスト戦後〉としての一九八〇年代』原宏之著. 新書館, 1983 年 [280.4]
- 『冒険する女の世紀：男装の女性史』中田耕治著. 慶應義塾大学出版会, 2006 年 [210.76]
- 『トルクメニスタンファンブック：中央アジアの知られざる国（ニッチジャーニー）』ギュルソユ慈著. パブリブ, 2022 年 [302.2965]
- 『デジタル社会の多様性と創造性：ジェンダー・メディア・アート・ファッション（明治大学リバティブックス）』田中洋美[ほか]編. 明治大学出版会, 2023 年 [367.1]
- 『コスプレ女子の時代（ベスト新書；180）』杉浦由美子著. ベストセラーズ, 2008 年 [367.21]
- 『スーツの神話（文春新書；096）』中野香織著. 文藝春秋, 2000 年 [383.14]
- 『人はなぜ花を愛でるのか（地球研ライブラリー）』日高敏隆, 白幡洋三郎編. 八坂書房, 2007 年 [389.04]
- 『コンパクト：知恵としてのデザイン』田中央文; 周村研二絵; 遠藤勁デザイン. ブックローン出版, 1994 年 [501.8]
- by Eugene Rimmel. *Book of perfumes*. Kessinger Publishing, [2004]. [576.72]
- 『シャネル No.5 の謎：帝政ロシアの調香師』大野斉子著. 群像社, 2015 年 [576.72]
- 『銀座百年の定点観測：小間物商原田久兵衛伝』原田豊著. 風媒社, 1988 年 [673.7]
- 『百貨店の博物史』海野弘著. アーツアンドクラフツ, 2003 年 [673.8]
- 『デパートを発明した夫婦（講談社現代新書；1076）』鹿島茂著. 講談社, 1991 年 [673.8]
- 『心を映す仮面たちの世界』野村万之丞監修. 絵書店, 1996 年 [711.9]
- 『幽霊：美と醜の物語：特別展』徳島市立徳島城博物館編. 徳島市立徳島城博物館, 2017 年 [721.025]
- 『入門墨の美術：古写経・古筆・水墨画』静嘉堂, 静嘉堂文庫美術館編. 静嘉堂, 静嘉堂文庫美術館, 2019 年 [728.8]
- 『V&A の名品でみるヨーロッパの宝飾芸術』クレア・フィリップス著; 山口遼監訳; 旦亜祐子訳. 東京美術, 2014 年 [755.3]
- 『ボヌール・デ・ダム百貨店』クエミール・ゾラ著; 伊藤桂子訳. 論創社, 2002 年 [953]

『V&Aの名品でみるヨーロッパの宝飾芸術』クレア・フィリップス著,山口遼監訳,旦亜祐子訳. 東京美術, 2014 年 [755.3]

質、量ともに世界最高峰の一つとされる、英国ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館のコレクションで構成された、宝飾百科といえる一冊。ヨーロッパの宝飾品の 500 年間にわたる発展を概観することができます。内容の中心はデザインの変遷ですが、製造、流通についても触れています。全点カラーで掲載された宝飾品の数々を、長年 V&A の宝飾品コレクションに関わってきた 著者による詳細な解説とともに、楽しむことができます。

温度

皮膚を通して感じる、熱や冷気。

情熱、冷徹、ぬくもり。

それはときに科学的な尺度をこえて、人の印象や場の雰囲気も表現します。

あなたはどんな常温でありたいですか。

- 『原色を好む心理・中間色をさくらう論理：現代人の色彩感覚』千々岩英彰著. 日本書籍, 1979 年 [141.2]
- 『感覚知覚の心理学』吉澤達也編. 朝倉書店, 2023 年 [141.2]
- 『皮膚感覚と人間のこころ（新潮選書）』傳田光洋著. 新潮社, 2013 年 [141.24]
- 『「温かい認知」の心理学：認知と感情の融接現象の不思議』海保博之編. 金子書房, 1997 年 [141.5]
- 『好き嫌い：行動科学最大の謎』トム・ヴァンダービルト著；桃井緑美子訳. 早川書房, 2018 年 [141.8]
- 『美とミソジニー：美容行為の政治学』シーラ・ジェフリーズ著；GC ジャパン翻訳グループ訳. 慶應義塾大学出版会, 2022 年 [367.2]
- 『匂いの力』八岩まどか著. 青弓社, 1995 年 [382.1]
- 『江戸・東京はどんな色：色彩表現を読む』小林忠雄著. 教育出版, 2000 年 [382.136]
- 『入浴と銭湯（雄山閣アーカイブス；歴史篇）』中野栄三著. 雄山閣, 2016 年 [383.6]
- 『道具と暮らしの江戸時代（歴史文化ライブラリー；64）』小泉和子著. 吉川弘文館, 1999 年 [383.9]
- 『タッチング：親と子のふれあい』アシュレー・モンタギュー著；佐藤信行, 佐藤方代共訳. 平凡社, 1977 年 [491.381]
- 『手の治癒力（草思社文庫；や5-1）』山口創著. 草思社, 2018 年 [492.79]
- 『養生外史：不老長寿の思想とその周辺：中国篇』吉元昭治著. 医道の日本社, 1994 年 [498.3]
- 『養生外史：不老長寿の思想とその周辺：日本篇』吉元昭治著. たにぐち書店, 2019 年 [498.3]
- 『ロウソクと蛍光灯：照明の発達からさぐる快適性（祥伝社新書；40）』乾正雄著. 祥伝社, 2006 年 [545.02]
- 『赤：古代の赤・江戸の紅花』福井県立歴史博物館編. 福井県立歴史博物館, 2010 年 [576.9]
- 『魅惑という名の衣裳：ハリウッド・コスチュームデザイナー史』川本恵子著. キネマ旬報社, 1993 年 [589.2]
- 『色の博物誌：江戸の色材を視る・読む』降旗千賀子[ほか]編. 目黒区美術館, 2016 年 [724.1]
- 『原宿・竹の子族』香咲弥須子著. 第三書館, 1981 年 [748]
- 『遊牧民と村々のラグ：キリム&パイルラグの本格ガイド』前田慎司著. グラフィック社, 2021 年 [753.3]
- 『鏡の魔術（中公文庫；よ-12-4）』由水常雄著. 中央公論社, 1991 年 [756.5]
- 『赤の歴史文化図鑑』ミシェル・パストゥロー著；蔵持不三也, 城谷民世訳. 原書房, 2018 年 [757.3]
- 『マンガでやさしくわかる江戸の娯楽本』いずみ朔庵著. 日本能率協会マネジメントセンター, 2024 年 [910.25]
- 『交歓するモダン：機能と装飾のポリフォニー』「機能と装飾」展実行委員会, 2022 年 [702.07]
- 『類語分類感覚表現辞典』中村明著. 東京堂出版, 2020 年 [816.07]

『タッチング：親と子のふれあい』アシュレー・モンタギュー著, 佐藤信行, 佐藤方代共訳. 平凡社, 1977 年 [491.381]

本書は人体のなかで一番大きな器官「皮膚」について、母と子の肌の触れ合いがいかに大切かを多角的に説いた書籍です。著者は人類学者ですが、生理学、心理学、動物行動学などの幅広い視点から論じ、皮膚を通じた触覚刺激が子どもの成長に与える影響を、多くの先行研究を引用しながら解説しています。原著の刊行は 50 年以上前ですが、ソーシャルディスタンスを経験した現代において、心を育てる皮膚感覚について再認識させてくれる一冊です。

連綿

たどり着いた土地の自然や文化と交わりながら、
形を変えて西へ東へと広がっていった唐草文。
その文様が描く緩やかな連なりは、コミュニティや宗教の垣根を越え、
世界がひとつにつながっていることを感じさせます。

- 『縄文の奇跡!東名遺跡：歴史をぬりかえた縄文のタイムカプセル：国史跡がまるごとわかる!』佐賀市教育委員会編. 雄山閣, 2017 年 [210.2]
- 『お世継ぎのつくりかた：大奥から長屋まで江戸の性と統治システム』鈴木理生著. 筑摩書房, 2006 年 [210.5]
- 『欲望の戦後史：“多幸症”日本人のプロフィール』石川弘義著. 廣済堂出版, 1989 年 [210.76]
- 『江戸から東京へ；一-九（中公文庫）』矢田挿雲著. 中央公論社, 1975-1976 年 [213.6]
- 『港区と考古学：未来へ続く、遺跡からのメッセージ：港区立郷土歴史館特別展』港区立郷土歴史館編. 港区教育委員会, 2019 年 [213.61]
- 『小野小町ものがたり：秋田の文化入門講座（んだんだブックレット）』小野一二著. 無明舎出版, 2005 年 [289.1]
- 『読んで歩いて日本橋：街と人のドラマ』白石孝著. 慶應義塾大学出版会, 2009 年 [291.36]
- 『ヒューマン・ネットワーク：人づきあいの経済学』マシュー・O・ジャクソン著；依田光江訳. 早川書房, 2020 年 [331]
- 『烏帽子と黒髪：中世ジェンダー考』野村育世著. 同成社, 2024 年 [367.2]
- 『日本の結び』額田巖著. 講談社, 1977 年 [383]
- 『宮廷の装束：天皇陛下御在位十年記念』京都国立博物館編. 高倉文化研究所, 1999 年 [383.1]
- 『日本現代服飾文化史：Japan fashion chronicle insight guide：1945-2021』日本服飾文化振興財団著. 講談社エディトリアル, 2022 年 [383.1]
- 『DNA でたどる日本人 10 万年の旅：多様なヒト・言語・文化はどこから来たのか?』崎谷満著. 昭和堂, 2008 年 [469]
- 『欲望のオブジェ：デザインと社会 1750-1980』アドリアン・フォーティ著；高島平吾訳. 鹿島出版会, 1992 年 [501.83]
- 『日本橋の近江商人：柳屋外池宇兵衛寅松家の四〇〇年』蝦名賢造著. 新評論, 2001 年 [576.7]
- 『香りのシルクロード：古代エジプトから現代まで』古代オリエント博物館,岡山市立オリエント美術館, 2015 年 [576.7]
- 『流通系列化と独占禁止法：化粧品業界を手掛かりとして』藤澤憲著. 白桃書房, 2007 年 [576.7]
- 『不滅のファッション図鑑：モードの歴史に連なるアイテム総覧：完全保存版』ヘイリー・エドワーズ=デュジャルダン[ほか]著. 東京書籍, 2025 年 [593.3]
- 『西洋美術の歴史』H.W.ジャンソン, アンソニー・F.ジャンソン著；木村重信, 藤田治彦訳. 創元社, 2001 年 [702.3]
- 『ウィリアム・モリス展カタログ』鈴木博之監修. ウィリアム・モリス展カタログ委員会, [1989]年 [727]
- 『タータン：伝統と革新のデザイン』富田智子, 養父尚三[ほか]企画・構成；廣瀬歩編. 青幻舎, 2018 年 [753.3]

『香りのシルクロード：古代エジプトから現代まで』古代オリエント博物館,岡山市立オリエント美術館, 2015 年 [576.7]

中国から西方の諸地域を結ぶ商隊路「シルクロード」。日本、ヨーロッパにまで地域を拡大して、各国に花開いた香りの文化を紹介した展覧会の図録です。フレグランス（芳香）だけでなく、フレーバー（食品の香り、風味）までを対象とし、古代 遺産や現代の香りなど、地域や時代を超えて現代 まで続く香りの文化を概観することができます。各地域の香りの特徴を説明したコラムや、研究員が現地で撮影してきた写真も魅力の一冊です。

運 ぶ

モノやコトを「こちら」から「あちら」へ移動する運搬は、
日常の行為として行われています。

手で、道具を使って、陸路で、海路で、空輸で、文字で、電氣的信号で。
その範囲は宇宙にまで広がっています。

editor, Philip B. Kunhardt Jr. Life, the first fifty years, 1936-1986. Little, Brown, 1986. [053]

『特集 明治期の広告：近代広告の幕開け（Ad studies：財団レポート；9）』吉田秀雄記念事業財団, 2004 年 [069.136]

『新聞報道と顔写真：写真のウソとマコト（中公新書；1431）』小林弘忠著. 中央公論社, 1998 年 [070.14]

『質感の科学：知覚・認知メカニズムと分析・表現の技術』小松英彦編. 朝倉書店, 2016 年 [141.2]

『〈21 世紀版〉身体批評大全』巽孝之, 宇沢美子編. 新曜社, 2025 年 [141.9]

『江戸の情報屋：幕末庶民史の側面（NHK ブックス；332）』吉原健一郎著. 日本放送出版協会, 1978 年 [210.57]

『最後の江戸暦問屋』寺井美奈子著. 筑摩書房, 1995 年 [210.58]

『明治大正の新語・流行語：「ことば」を通して時代を知る』槌田満文著. 角川書店, 1983 年 [210.6]

『幕末明治の肖像写真』石黒敬章著. 角川学芸出版, 2009 年 [281.038]

『シルクロードの未知国：トルクメニスタン最新事情』緒方修著. 芙蓉書房出版, 1994 年 [302.2965]

『シルクロード装いの美：幻のスザニとファッションアートの挑戦』中上正美子監修. 大倉集古館, 2005 年 [383.122]

『はきもの（ものと人間の文化史）』潮田鉄雄著. 法政大学出版局, 1973 年 [383.2]

Chizuko Morita ; photographs by Shuichi Yamagata ; translated by Kirsten Mclvor. Gift wrapping with textiles : stylish ideas from Japan.
Kodansha International, 2005. [385.9]

『図説正倉院薬物』柴田承二監修；宮内庁正倉院事務所編. 中央公論新社, 2000 年 [499.8]

『世紀末の祭典万国博覧会の美術：パリ・ウィーン・シカゴ万博に見る東西の名品』東京国立博物館[ほか]編. NHK プロモーション,
日本経済新聞社, 2004 年 [606.9]

『More than just ads：ニッポン広告史』吉田秀雄記念事業財団編. 吉田秀雄記念事業財団, 2025 年 [674]

『キャッチフレーズの戦後史（岩波新書；新赤版 195）』深川英雄著. 岩波書店, 1991 年 [674.21]

『引札繪ビラ風俗史（青蛙選書；59）』増田太次郎著. 青蛙房, 1981 年 [674.21]

『旅の古代史：道・橋・関をめぐって』森浩一, 門脇禎二編. 大巧社, 1999 年 [682.1]

『切手にみる世界の民族衣装』石山彰監修；浦野米太郎切手蒐集. 文化出版局, 1978 年 [693.8]

『絵はがきの時代』細馬宏通著. 青土社, 2006 年 [693.8]

『日本の書と筆の宇宙：筆の里工房開館 20 周年記念特別展』筆の里工房編. 筆の里工房, 2014 年 [728.8]

『声の文化と文字の文化』ウォルター・J.オング著；桜井直文[ほか]訳. 藤原書店, 2025 年 [804]

『プラスチック・ワード：歴史を喪失したことばの蔓延』ウヴェ・ペルクゼン著；糟谷啓介訳. 藤原書店, 2007 年 [801]

『キャッチフレーズの戦後史（岩波新書）』深川英雄著. 岩波書店, 1991 年 [674.21]

印刷物、音声、映像。私たちの身のまわりには、広告があふれています。商品やサービスの魅力を端的に伝え、受け手の心に訴えるキャッチフレーズは、コピーライターの腕の見せどころ。本書は、広告代理店で長年コピーライティングに携わってきた著者が、キャッチフレーズの誕生背景や社会への影響を通して、戦後の世相を読み解いた一冊です。巻末には「戦後キャッチフレーズ 500 選」が収録されており、今なお目にする言葉の初出や、広告主の意外性に驚かされます。

Metal

独特の光沢をもち、熱伝導、電気伝導にすぐれた金属。
元素の 3/4 を占めると言われています。
石器時代に続く、青銅器時代、鉄器時代という時代区分は、
文明の発展が金属の加工技術とともにあったことを示しています。

- 『朱の考古学（考古学選書）』市毛勲著. 雄山閣出版, 1998 年 [210.025]
- 『藤ノ木古墳：古代の文化交流を探る：特別展』奈良県立橿原考古学研究所附属博物館, 1989 年 [210.2]
- 『射和文化史』山崎宇治彦, 北野重夫編纂. 射和村教育委員会, 1956 年 [215.6]
- Volker Bierbrauer ; Pinacoteca di Brera. I Goti. Electa, 1994. [237]
- 『ヴィダル・サスーン自伝』ヴィダル・サスーン著；あずまゆか訳. 髪書房, 2011 年 [289.3]
- 『新古細句銀座通』岸田劉生著. 東峰書院, 1959 年 [291.36]
- 『石器時代の経済学（叢書・ユニベルシタス）』マーシャル・サーリンズ[著]；山内昶訳. 法政大学出版局, 1984 年 [332.02]
- 『イタリア貨幣・メダル展：2300 年の歴史と美術』イタリア貨幣・メダル展実行委員会編；バベル[ほか]翻訳；清水宏翻訳監修.
イタリア貨幣・メダル展実行委員会, 1991 年 [337.2]
- 『シルクロードのアクセサリ：砂漠の華』並河萬里写真. 文化出版局, 1980 年 [383.3]
- 『北陸の玉：古代のアクセサリ』福井県立博物館編. 福井県立博物館, 1994 年 [383.3]
- 『トルクメン・ジュエリー：シルクロードからの贈りもの』広島県立美術館, 福田浩子編. 広島県立美術館, 1999 年 [383.3]
- Layla S Diba ; Stefano Carboni ; Jean-Francois de Laperouse. Turkmen jewelry : silver ornaments from the Marshall and Marilyn R. Wolf collection. Metropolitan Museum of Art, 2011. [383.3]
- 『聖なる銀：アジアの装身具』高木由利子, 熊谷順撮影；松原三千男地図イラスト. INAX 出版, 2011 年 [383.3]
- 『神々の宿る銀：世界の伝統装身具図鑑：地域別編』露木宏著. 織研新聞社, 2013 年 [383.3]
- 『日本の「宝飾装身具」広告史：明治・大正・昭和前期の宝石と装身具』露木宏著. 東京美術, 2023 年 [383.3]
- 『「鉛」：環境中の鉛と生体影響』堀口俊一著. 労働科学研究所出版部, 1993 年 [493.152]
- 『パッチフラワー花と鍍金術』東昭史著；大槻真一郎編集協力. 東京堂出版, 2007 年 [499.87]
- 『口紅から機関車まで；上・下』レイモンド・ローウィ著；藤山愛一郎訳. 学風書院, 1953 年 [501.8]
- 『あこがれの家電時代（らんぷの本）』．清水慶一著, 2007 年 [545.88]
- Roseann Ettinger. Compacts and smoking accessories. Schiffer Pub., 1991. [675.18]
- edited by Hugh Tait. Seven thousand years of jewellery. British Museum Publications, 1986. [755.3]
- 『すぐわかるヨーロッパの宝飾芸術』山口遼著. 東京美術, 2005 年 [755.3]
- 『愛のヴィクトリアン・ジュエリー：華麗なる英国のライフスタイル』『愛のヴィクトリアン・ジュエリー』展カタログ制作室編. 平凡社, 2010 年 [755.3]
- 『指輪 = The rings : 神々の時代から現代まで一時を超える輝き：橋本コレクション』飯塚隆編. 国立西洋美術館, 2014 年 [755.3]
- 『江戸時代の柄鏡とその鑑賞』堤信久著. 堤信久, 1992 年 [756.5]
- 『東洋の鏡：東京芸術大学所蔵鏡鑑』中野政樹, 東京芸術大学学芸資料館編集. 東京藝術大学, 1996 年 [756.5]
- 『江戸の粋：柄鏡：特別展』府中文化振興財団, 府中市郷土の森編集. 府中文化振興財団；府中市郷土の森, 1996 年 [756.5]
- 『中世和鏡の基礎的研究：分析編』内川隆志編. 國學院大學博物館, 2019 年 [756.5]

『朱の考古学（考古学選書）〈新版〉』市毛勲著. 雄山閣出版, 1998 年 [721.2]

古代社会で、呪術性が高いとされてきた赤い色。本書では、辰砂（しんしゃ）や水銀朱だけでなく、「赤色を呈する顔料」について、著者の専門領域である考古学の分野から迫っています。1975 年刊の旧版に、その後の急速に進んだ学会の調査研究成果を新知見として加えて出版されました。江戸時代に伊勢参りの土産として有名だった伊勢白粉に触れるほか、著者の関心が高い人物埴輪顔面の赤彩色については「人物埴輪顔面の赤彩色と鑑賞」として、50 ページにわたる論考を追加しています。